

西宮市立中央病院だより

Vol.156

〒663-8014 西宮市林田町8番24号 ☎0798-64-1515(代表)・☎0798-64-1540(地域医療連携室) FAX0798-67-4811・FAX0798-67-4896(地域医療連携室)
ホームページ <http://www.hospital-nishinomiya.jp/>

基本理念

市民に期待され、親しまれ、信頼される病院であるよう、

- 一、患者さま中心の心温かな病院をめざします。
- 二、医学の進歩に対応し、質の高い総合的な診療をめざします。
- 三、地域医療機関との連携、保健、福祉との協力のもとに市民の健康を守ります。
- 四、開かれた病院として、市民・医療関係者の生涯教育の充実に努めます。

臨床病理科のご紹介



臨床病理科 主任部長 綾田 昌弘

病理における組織診断は HE 染色と光学顕微鏡を用いた形態的な観察を中心として、臨床情報などの周辺情報を総合してなされています。病理学における基本姿勢である、人体と疾患を総合的にとらえて形態学的変化の裏に隠されている病因と修飾因子を考察することは昔も今も変わっていません。しかし今の病理学は病理医の主観に頼ることが多く、病理医が癌と思えばそれは癌の診断となり、そこには客観的な指標はありません。検鏡による病理学に客観性を導入するとすれば、複数の病理医が同じ検体を検鏡して多数決で判断するしかないのが現状です。

しかし手法は大きく変化しアナログの世界であった病理学にデジタル化と数理解析が可能となりました。それ

に遺伝子検査が加わるようになり従来の病理診断の手法がかなり変わってきています。一例を挙げると脳腫瘍の分野では遺伝子情報により腫瘍が分類され、病理診断はそれを追認するようになってきています。具体例として、組織診断でびまん性星細胞腫とされ、遺伝子診断で IDH 変異と 1p/19q 欠失が認められた場合には、診断は乏突起膠腫 IDH 変異と 1p/19q 欠失となり、遺伝子診断が病理診断に勝る結果となっています。

2017年6月 西宮市立中央病院 診療科・診療担当医一覧表

※外来診療受付時間 月曜～金曜 午前8:30～11:00(初診・再診) 午後1:00～3:00(予約・専門外来)

☎663-8014 西宮市林田町8番24号 〇各科責任者 0798-64-1515(代表) ()内線番号

Table with columns for Department (内科, 外科, etc.), Day (月, 火, etc.), and Doctor Name. Includes a note: ※火曜日AM IV診は6/13(火)からとなります。

Table with columns for Department (内科, 外科, etc.), Day (月, 火, etc.), and Doctor Name. Includes a note: ※火曜日PM IV診は6/6(火)までとなります。

● 患者様のご紹介について 地域医療連携室(内線 186)

○地域医療連携室へ当院所定の「診療情報提供書」をFAXでご送付ください。 予約日と時間を「受診予約票」にて、FAXで返信いたします。

(FAX) 0798-67-4896

受付時間 平日8:30～19:00 土曜9:00～12:00

但し、CT・MRI等の検査予約の受付は8:30～17:00となります。

○当院の医師に直接お電話くださるか、従来どおりの紹介状によっても診察いたします。その場合、午前11時までに1階正面玄関受付へ来ていただくよう患者様にご案内をお願いいたします。

○紹介状をお持ちの患者様も、事前に予約を入れていただきますと、待ち時間短縮につながりますので、ご協力をお願いいたします。

○当院の診療結果をFAX等でご報告いたします。

● 救急体制のご案内 ～平日の夜間及び土曜日もお紹介を承っております～

Table with columns for 区分 (小児科2次救急, 外科1次救急, etc.), 月曜日, 火曜日, 水曜日, 木曜日, 金曜日, 土曜日.

※■(網掛け部)は、診療所のバックアップを目的として、当院が輪番枠とは別に独自に行っている2次救急です。

※□(網掛け部以外)は、輪番で行っている1次・2次救急です。 ※金曜日の内科・外科2次救急に関しては、月によって輪番を担当する週が変わる場合があります。

● 糖尿病教室のご案内

医師をはじめ医療関係者が説明を行います。 予約や受講料は不要です。

<実施日時> ・奇数月：水曜日(月4回) ・偶数月：木曜日(月4回) 午後3時～午後4時30分頃

<実施場所> 3階 講義室

検体の採取方法にも大きな変化があります。リキッドバイオプシーです。癌領域で行う組織採取の生体検査(バイオプシー)をリキッド(液体つまりここでは血液を意味する)で代用させる技術です。この考え方は以前からあったのですが、最近の技術進歩により現実味が帯びてきました。血液でバイオプシーと同じ性能の検査ができれば、患者さんにとっては負担が少なく非常に有益な技術です。この技術を発展させて cfDNA (cell free DNA)も盛んに研究されています。血液循環腫瘍 DNA の意味で、ctDNA (circulating tumor DNA)とも呼ばれています。癌患者の cfDNA 量は健常人よりも多いことが報告されており、この DNA を利用して特定の遺伝子変異を測定することで、治療方針の有用性を高める事例が報告されています。

当院では今年 1 月より最新の免疫染色装置と染色装置が導入されました。今まで以上に多彩な病理検査が迅速に出来るようになり、HE 標本と免疫染色を数多く作製し、加えて困難な症例は複数の病理医による検討会を実施して客観性を高めております。地域の皆様におかれましては安心してご紹介いただけたと思います。さらなるご指導を賜りますようお願い申し上げます。



地域医療連携医のご紹介



飯田整形外科 院長 飯田 伊佐男 先生

大屋町で整形外科のクリニックを開業して21年目の飯田伊佐男と申します。山手幹線と中津浜線との交差点のすぐ東側です。西宮市立中央病院は近いので紹介患者様をよく受け入れて頂いています。整形外科や放射線科をはじめ各科の先生方や地域医療連携室のスタッフの皆様方には、いつも迅速に快く対応して頂いて感謝しています。とても紹介しやすく信頼できる病院なので、地域医療充実のためにこれからもよろしく願いいたします。

約 30 年間の病院勤務を経て、平成 17 年に上ヶ原地区で開院致しました。地域の人々とのつながりを大切にしつつ、可愛い子供たちや元気すぎて調子を崩す学生たちや人生経験豊かな年配の方々を診せてもらっています。

西宮市立中央病院の皆様には、患者さんの入院の時や検査依頼時に大変お世話になり感謝しています。また、定期的な西宮地域医療連携セミナーや小児科の症例検討会では、色々な症例や情報に接することができ有難く思います。今後とも宜しく願いいたします。



おやどまりクリニック 親泊 英善 先生